

新市民会館運営管理基本計画（案）について

1

1 趣旨

「長野市文化芸術振興計画」（平成22年4月策定）、「第一庁舎・長野市民会館建設基本計画」（平成23年4月策定）を受け、新市民会館が長野市の文化振興において担う役割、施設の運営管理方針、施設を利用して行う事業などについて、基本的な方向性を示す目的で「運営管理基本計画」（案）として策定しました。この計画（案）に対して、市民の皆さんから広くご意見・ご提案を募集した結果をお知らせするものです。

2 募集期間

平成24年3月1日（木）～3月30日（金）（30日間）

3 募集方法

市役所ホームページ、市役所「行政資料コーナー」及び教育委員会生涯学習課、各支所（27支所）、市立長野図書館及び南部図書館、市立公民館（29館）、市生涯学習センターの窓口において、計画（案）を公表し、書面又は電子メール等で意見・提案の募集を実施しました。

4 募集結果

（1）意見等の提出者数

6人（提出方法：電子メール3人、FAX2人、持参1人）

（2）意見の件数

19件

5 意見・提案に対する市・市教育委員会の考え方

対応区分	対応方針	件数（件）
1	計画案を修正・追加する。	1
2	計画案に盛り込まれており、修正しない。	
3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。	12
4	検討の結果、計画案に反映しない。	6
5	その他（他の計画で対応している）	
合 計		19

新市民会館運営管理基本計画（案）に対する 意見等の概要及びそれに対する市・市教育委員会の考え方

2

整理 番号	計画(案)の該当 箇所		意見・提案等の概要	市・市教育委員会の考え方	対応区分・対応方針
1	7 P	Ⅱ基本方針	・新市民会館の役割実現に当たり、段階的な目標として設定してとか、運営管理も中長期的な目標を設定し達成度を確かめながらとあるが、開館時から着実に計画案を実行することを望む。また、いくら立派な施設を作ってもやることをやらなければ、宝の持ち腐れ即ち税金の無駄使いとなってしまう。そうならないように、評価委員会で事業運営や施設運営のしっかりとした評価を期待する。	・新市民会館の4つの役割の実現に向けては、中長期の目標設定と、このための年度計画が必要となります。開館時から年度計画を確実に実行し、魅力ある施設運営を行います。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
2	12 P	Ⅲ事業計画	・金沢市、水戸市などでは専属楽団を保有し、活動が目立つ。ホクト文化ホールでもアマチュアのフィルハーモニーを保有しているので、こちらとの連携も視野に入れて具体化を検討してはどうか。養成するにはかなりの時間を要するため、当初は国内のプロ・オーケストラとの提携も考え定期公演の実現を図ることを検討してはどうか。	・新市民会館の上演団体を育成していくことは重要な事業の一つであり、育成には時間がかかることと認識しています。ご指摘の、専属楽団の保有やプロ・オーケストラとの提携については、今後、実施計画の中で検討します。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
3	16 P	Ⅳ組織計画	・今まで貸館事業しかしてこなかった長野市が、なぜ、指定管理者制度を導入したのか。指定管理にして自主事業を実施させて、指定管理者の評価を進めてきた事業をなぜ3年間直営に戻すのか理解できない。指定管理者制度を導入した17年度から現在まで指定管理者の運営に対して行った評価データがあるのではない。直営よりも指定管理者制度を継承し、新たな競争と夢、地元雇用を実現する門を開くべきと考える。篠ノ井、松代、若里、東部などの文化施設を一体となった文化事業を構築し、新たな団体・企業を創り上げていくことが、今からできる市民参加型プロジェクトと考える。	・「育む」、「楽しむ」、「創る」、「つなぐ」の4つの役割を担う新市民会館は、新たな役割を通して本市の文化芸術振興を図るものであり、施設規模や運営規模から維持管理面でも運営面でも、これまでの実績やデータを当てはめることができないと考えます。 ・(4)運営主体についての考え方の4行目から11行目までを『その上で、新市民会館でのより高い市民サービスの提供と経費の削減効果が得られるよう、他の市有施設との一体運営も視野に入れ、本市の文化芸術振興が図られるような運営主体を選定することが必要である。そのため、新しい運営形態について幅広く検討を行い、「新市民会館運営管理実施計画」に反映していくこととする。』の記載に修正します。	1 計画案を修正・追加する。

整理 番号	計画(案)の該当 箇所		意見・提案等の概要	市・市教育委員会の考え方	対応区分・対応方針
4	16P	IV組織計画	・専門家等の配置についてのうち、音楽監督については、建設段階からアドバイスが受けられるように、できるだけ早期に専任者を置くべきと考える。それも、若手で将来性の高い人物が選任できれば最高と考える。この問題については東京芸大のアドバイスを受けてはどうか。	・プロデューサーなど複数の専門家の配置のタイミングと人選は重要であると認識しております。 なお、建築、音響、芸術、劇場運営などの専門家による建設専門アドバイザーや運営専門アドバイザーから助言を頂いており、アドバイザーには東京芸大の教授も加わっております。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
5	17P	IV組織計画	・まちのにぎわいを創出するとしているが、計画されている場所では周辺道路の状況、駐車場の確保、中心市街地から外れていることなどマイナスの要因が多い。	・多くの皆様が文化芸術に触れる機会の拡大を図るため、出演者の協力を得ながら、アウトリーチ活動を積極的に展開することや、市民の皆様の協力をいただきながら、ホールでの事業と提携したイベントの開催・イベントへの参加などにより、施設でのにぎわいがまちに広がることを目指します。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
6	21P	VI利用規則	・創造支援部門のサテライトスタジオ、情報ライブラリー、会議室、アートマネージメント部門等は、市民会館の建物内になければならない理由が見当たらない。もんぜんぶら座、生涯学習センター、勤労者女性会館しなのきなどの他の市有施設を使用すべきである。	・新市民会館は本市の文化芸術振興の核として拠点的役割を持ち、市民の皆様が日常的に利用し、文化芸術に関心を持っていただける施設とすることから、ホールだけでなく、創造支援部門、情報交流部門、アートマネージメント部門を一体的に配置する構成が必要と考えています。 また同時に、市内施設との連携を図ってまいります。 なお、本計画とは別の「建設基本計画」では、スタジオなど一部機能は、設計段階で施設全体のボリュームを考慮して再検討するとしています。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
7	22P	VI利用規則	・とても大きく豪華な市民会館となりそうだが、予定している収入が得られ採算の採れる運営ができるか心配である。新しい市民会館がホクト文化ホールより安く借りられるのであればそれなりの需要もあると思うが、年間5億もの経費がかかる市民会館が気軽に借りれる値段になるとは思えない。自分たちの払った税金で維持している施設が、高い使用料のために使用できないことのないよう、高い芸術性や設備にこだわるのではなく子育て世代でも利用しやすく、実用的で親しみやすい、20年先、30年先を見据えた施設建設を望む。	・新市民会館の利用規則の策定に当たっては、利用者の利便性の確保を最優先の基本方針として掲げています。 使用料金等については、ホクト文化ホールをはじめ、近郊のホールとの均衡を考慮したうえで適正な使用料金を設定したいと考えております。なお、子供たちを対象とした特色あるプログラムを積極的に展開し、親子で鑑賞できる機会の拡大も図ります。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

整理 番号	計画(案)の該当 箇所		意見・提案等の概要	市・市教育委員会の考え方	対応区分・対応方針	
8	22P	Ⅵ利用規則	・使用料が高額となり減免もないのであれば、市民が利用できない施設となるのではないかと危惧される。	・新市民会館の利用規則の策定に当たっては、利用者の利便性の確保を最優先の基本方針として掲げています。 使用料金等については、ホクト文化ホールのホール規模や料金設定などとの均衡を考慮したうえで適正な使用料金を設定したいと考えております。 なお、市内のアマチュア団体等の負担を軽減するために入場料を徴収する場合は、入場料の額に応じて使用料金を区分する料金体系を予定しております。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
9	24P	Ⅶ収支計画	・平均稼働率の目標を70%としているが、実施計画では70%を下限値に更に検討を加えてきちんとした数値を示してほしい。	・平均稼働率70%は、全国のホール平均稼働率60%に比べて高い数字であります。また、上位計画となる第4次長野市総合計画後期基本計画の中でも、新市民会館の平均稼働率は70%とし、年間で約266,000人の利用を想定しております。 しかし、目標値以上に多くの市民の皆様にご利用いただけますよう、事業内容の工夫を図ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
10	24P	Ⅶ収支計画	・一番大事な収支計画が試算では無責任である。また、算出根拠が説明されていない項目もある。実施計画では、きちんと算出根拠を示し、歳出面では経費の削減と節減に努め、歳入は積極的な営業活動等の運営努力を行い、事業費が少しでも少なくなり、市民負担が軽減される責任のある計画の策定を望む。	・施設の実施設設計ができていない段階で、ランニングコストを正確に見込むのは困難なことから、全国的な平均数値を基に運営費などを概算としてお示ししたものです。ご指摘のとおり、今後策定する実施計画では、より詳細に数字を積み上げ精度を高めるとともに、経費の縮減と収入の確保に向け努力してまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
11	25P	Ⅶ収支計画	・1事業当たりの自主事業費を275万円と見込んでいるが、費用と効果を十分見極めたうえで実施することは勿論のこと、費用は極力削減すべきである。	・自主事業は、その内容によって経費が異なります。現在、個々具体的な事業内容が定まっていないため、事業費の算出に当たっては、あくまで、全国平均値を引用しております。 具体的な事業計画立案の際には、運営委員会に協議し、費用面も十分考慮しながら効果的な自主事業の展開を図ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
12	24P～ 26P	Ⅶ収支計画	・収支計画をもっとしっかりと立て、市民に十分周知してほしい。	・本計画（案）では、現段階での収支イメージを市民の皆様にお示するうえで、試算として、平成22年度に（財）地域創造が実施した全国調査をもとに数字を積算しております。 今後、新市民会館運営管理実施計画を策定する中で、改めて、より具体的な数字を積み上げ、収支計画を策定し市民の皆様十分に周知を図ってまいります。	3	計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。

整理 番号	計画(案)の該当 箇所		意見・提案等の概要	市・市教育委員会の考え方	対応区分・対応方針
13	その他	命名権	・作る以上は、命名権を当てにするようなことは絶対にないよう願う。市民として恥ずかしい話である。	・市内ではホクト文化ホールが、また、市外でもホールやスタジアムなどで命名権を活用し、スポンサーの協力を得ながら事業の推進や財源の確保を行っており、命名権の行使は施設の維持や利用の活性化面では、一つの有効な選択肢となっております。しかし、新市民会館は庁舎との合築であることから、スポンサー企業の名前が建物全体に付与されてしまうという誤解を招く恐れがあり、ネーミングライツの導入には、慎重な検討が必要と考えております。	3 計画案は修正しないが、今後の取組みにおいて検討又は参考とする。
14	その他	管理計画	・新市民会館は庁舎との合築であるため管理に無理がある。	・新市民会館は庁舎と一部合築となることから、市役所の来庁者が文化芸術やイベントの情報に触れる機会が増えるなど、複合施設としてのメリットがあります。施設建設に当たっては、庁舎と新市民会館の案内動線の分かりやすさ、管理区分の明確化、セキュリティ確保など、管理面を十分に考慮して対応を図る予定です。	4 検討の結果、計画案に反映しない。
15	その他	音楽設備	・音楽主目的ホールに是非、パイプオルガンを備え付けて欲しい。制作期間が長期となるため、早期に決定に踏み切って、設計上においても対応を願う。	・新市民会館は、限られた費用の中で文化芸術拠点としての基本的な性能を確保し、できるだけ多くの市民が利用できる施設とすることを考えております。パイプオルガンについては、使用頻度や設置費用及び維持費用等を考慮し、残念ながら導入予定はありませんのでご理解をお願いします。	4 検討の結果、計画案に反映しない。
16	その他	収容人数	・著名なオーケストラ等の公演では、所要経費も嵩むため、採算ベースに乗せるため、設計を進める上では、できるだけ多くの収容人数として欲しいと考える。	・ホールは、市民が利用しやすい300席程度の二つの小ホール（音楽ホールとボックス型小劇場）を確保し、大ホールは市内のホールやイベントの状況等から1300席とした経過があります。なお、新市民会館運営管理基本計画においては、市内施設等との役割分担や連携を図ることとしており、イベントの内容等によってホクト文化ホール等と連携を図ってまいります。	4 検討の結果、計画案に反映しない。

整理 番号	計画(案)の該当 箇所		意見・提案等の概要	市・市教育委員会の考え方	対応区分・対応方針
17	その他	建設と運営 管理につい て	・文化芸術には一切興味がなく、文化芸術でおなか は満たされない。本当に困っている人や必要なところ にお金を使って欲しい。借金の返済を子供に背負わ せ、次の世代まかせでは困る。本当に新しい市民会 館は必要なのか。ホクト文化ホールで十分である。	・文化芸術には、人の心を癒したり満したりする力が あります。市では、子どもたちを含む全ての世代が 気軽に文化芸術に触れられる機会や環境を整え、文 化芸術の振興を図っていく必要があると考えていま す。 ご指摘のホクト文化ホールなどは土日を中心に稼働 率が高く、予約が取りづらい状況にあることから、 早期の整備について要望が寄せられています。 新市民会館は、市民の芸術鑑賞や発表の場として、 文化芸術と市民生活を結びつける施設にしたいと考 えています。	4 検討の結果、計画案に反映し ない。
18	その他	運営管理に ついて	・予想はしていたが、運営管理費が高額で驚いてい る。今後の人口動態や経済状況、オリンピック関連 施設など多く維持していることから、将来に亘りこ の施設を維持していくことは無理があり、施設を身 の丈にあったものにして、ソフトの充実にお金をか けてほしい。	・運営管理費は、(財)地域創造の調査研究や、他市 の事例を参考に15,000円/㎡をもとに算出していま す。また、自主事業費も実態調査に基づく20万人以 上の都市の事業数をもとに、年間70件とソフトを充 実し、試算しています。 なお、施設を維持するに必要となる財源を確保する ためにも、平日の貸館事業などを積極的に推進して まいります。	4 検討の結果、計画案に反映し ない。
19	その他	技術監督に ついて	・劇場を造ることは非常に知識が必要となる。実際に 出来上がってから起こる問題を事前に把握するに は、劇場を良く知る卓越した技術者との連携が不可 欠で、それも地元長野市における風土と環境、公演 の実績などを把握した技術監督の就任が不可欠と考 える。設計段階からこのような技術監督を配置する ことにより、設計の段階で見えてくる問題点、設計 図から改善できる点などを調整することが可能とな る。これから選定されるメーカーの言いなりになら ず、使いやすい無駄のない劇場建設を望む。	・設計段階においては、様々な市民で構成する市民会 館市民ワークショップの意見や、各分野の専門家の アドバイスを得て進める体制を整えており、他ホー ルの状況等も参考にしながら、技術的事項を含めて 適切な選択が出来るように 進めていきます。また、設備・備品等については、 設計管理者の責任の下、検討段階における専門家か らのアドバイスを反映した選定を行います。 なお、舞台技術部門の専門スタッフには、長野市内 の現状のみならず、国内はもとより、世界の最新情 報を熟知し、幅広い視野と知識を持った人材が求め られることから、適した人材が登用できるよう、検 討を進めてまいります。	4 検討の結果、計画案に反映し ない。